

(様式2)

## 指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成30年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(飯田建設事務所)
指定管理者	株式会社 うるぎホープ

### 1 施設名等

施設名	長野県南信州広域公園	住所	長野県下伊那郡売木村2653-3
		電話	0260-28-2455
		ホームページ	http://www.hosihinomori.jp/

### 2 施設の概要

設置年月	平成11年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	オートキャンプ場 テントサイト(個別サイト、キャラバンサイト、フリーサイト)、キャビン、大型キャビン、センターハウス 芝生広場、大型木製遊具、展望台、遊歩道 開園面積:53.8ha		
利用料金	有料施設:テントサイト、キャビン、会議室(施設により料金は異なる。)		
開所日	水曜日(水曜日が休日に当たるときは木曜日)、休日の翌日、12月1日から翌年4月第3土曜日の前日までを除く毎日		
開所時間	8:00～21:00(宿泊有の場合)		

### 3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	みなみ信州農業協同組合
平成18年度～20年度	指定管理	みなみ信州農業協同組合
平成21年度～23年度	指定管理	株式会社 うるぎホープ
平成24年度～28年度	指定管理	株式会社 うるぎホープ
平成29年度～33年度	指定管理	株式会社 うるぎホープ

### 4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	株式会社 うるぎホープ	指定期間	平成29年4月1日～33年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1者)		

### 5 指定管理料(決算ベース)

平成30年度(A)	平成29年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
27,400 千円	27,600 千円	-200 千円	
	増減理由		

### 6 指定管理者が行う業務

都市公園等(備品を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務 オートキャンプ場の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務
---

### 7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度(A)	1,490	2,385	1,747	3,609	7,993	2,594	1,850	1,600	冬季休業				23,268
平成29年度(B)	1,106	2,636	1,564	4,696	8,906	2,786	1,333						23,027
(A)/(B)	134.7	90.5	111.7	76.9	89.7	93.1	138.8	-					101.0
増減要因等	天災により早々に休園せざるを得ない前年度に比べ、利用人数は若干増加した。ただし、高需要期の週末に台風襲来による休園が4日程あり、思うような利用者増とはならなかった。												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度(A)	2,147	3,704	2,646	5,748	12,030	3,970	3,217	2,838	冬季休業				36,300
平成29年度(B)	1,689	4,503	2,474	6,620	12,983	4,125	2,253						34,647
(A)/(B)	127.1	82.3	107.0	86.8	92.7	96.2	142.8	-					104.8
増減要因等	上記の記載通り、前年比約5%増となった。												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成30年度: 244日 平成29年度: 211日	平成30年度: 8:00~21:00(宿泊有の場合) 平成29年度: 8:00~21:00(宿泊有の場合)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度大幅に減少となった独自イベントを積極的に実施し、前年比約150%の940名参加いただいたが、前々年度には及ばなかった。</li> <li>・SNSサイト(Line@)を利用した情報発信を継続し、サービスやイベント告知を行った。</li> </ul>
---

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きタープの大きい芝刈機を継続実施するとともに、台風等の強風で高木が倒れる事態も生じており剪定および伐採作業も取組み始めた。</li> <li>・老朽化の進む修繕を積極的に実施した(建物外壁塗装、サニターハウスのドアノブ(キー)取替、センターハウスの吊り戸改修等)。</li> </ul>
--

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約がなかなか取れなくなっている。また夏期は電話が繋がりにくい。⇒高需要期の事前申込抽選制を拡大。</li> <li>・チェックインの待ち時間改善を。⇒混雑時の簡易案内ボードを作成し、案内を迅速に試みると同時に、さらに簡略化カードも検討中。</li> <li>・仕方ないですが、動物の糞がたくさんあった。⇒チェックイン後のサイト清掃、定期的なゴミ拾い作業にて対応。</li> <li>・夜中遅くまで騒いでいる人への注意を。⇒チェックイン時での啓発、また夜間の巡回強化で対応中。</li> </ul>
---

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定書、仕様書、および事業計画書の内容に沿った維持管理に努めた。</li> <li>・当日利用者の増減に合わせ、場合によっては必要回数以上の維持管理業務(清掃・巡回)を行うことを心掛けた。</li> </ul>	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高需要期(お盆など)の利用予約の確保難対策として、抽選制度の対象枠の拡大や、上限利用枠(3組まで)の設定、および利用日が近い複数日程での予約制限(掛け持ち予約対策)などを実施する。</li> <li>・他施設との合同のweb予約を活用し、より予約し易さを拡大。</li> </ul>	抽選制により、平等な利用を確保できるよう努めていると認められる。	A
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設の近況やイベント等サービスの案内をできるだけ多くの方へ情報発信する為、これまでの当方webの活用のほか、SNSサイト(Line@)の活用を継続させた。</li> <li>・温泉施設「こまどりの湯」利用サービス向上策として好評の入浴割引券の配布を継続させた。</li> </ul>	サービス向上に向けて、柔軟な取り組みで対応していることは評価できる。	A
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーラータイプの利用施設も6年目経過し、十分周知されるようになり、既存のキャビンと同等の稼働状況を維持している。</li> <li>・昨年大幅に減少した独自イベントについては、利用者への野外体験機会の提供は当施設をご利用いただく上でその動機の一因ともなっていることから、本年実施強化した結果、昨年来を大きく上回る参加実績となった。</li> <li>・レンタル事業は大幅に減少してきている。より独自性、また高品質なものへ需要が移行しつつあるように思われる。</li> </ul>	創意工夫された自主事業が実施されており、施設の設置目的に寄与している。	B
職員・管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤職員5名、非常勤4名。</li> <li>・常勤職員の業務スキル向上に取り組みつつ、要員体制の均一化を図ることを重要課題として試みている。冬季閉園期間中の他事業実施に向け実習を進める。</li> </ul>	仕様書及び事業計画書に基づく職員配置が行われており、繁忙期には柔軟な対応をしている。	B
収支状況	全体収入79,294千円に対し、支出77,574千円で収支バランスは堅持。天候により収入は伸び悩み、修繕費がかさみ支出増加傾向にある。	利用料収入の増加と経費削減の努力は評価できる。引き続き、多彩な自主事業の実施等を通じ、施設の提供のみではない、特色ある公園サービスの提供を目指していただきたい。	A
総合評価	昨年の天災影響に比べ、本年の利用者は前年比約5%と増加した。引き続き、近年の利用者増に対応すべく職員体制の増強を急ぎ、次年度からの受入体制の充実を図ってきたい。	仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。	A

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。  
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。  
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

(様式2)

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題となっている老朽化による施設の修繕対策については、平成26年度以降、遊具、供用施設(外壁・屋根塗装・浄水設備など)について修繕が順次改修されてきている。植栽管理について、芝の健全状態維持、樹木高木化に伴い剪定や枝打ち等の新たな管理作業が必要となってきている。また今後予想される突発的な大規模修繕に対応できるような準備金制度を設ける必要性を強く感じる。</li> <li>・利用者増加傾向に合わせた従事職員の育成、これに伴い冬季閉園期間中の雇用確保の為事業展開が課題である。</li> <li>・10年先を見据えた本公園全体のあり方について公園関係者相互で協議していくことが重要であり、本公園の将来のあるべき姿について意見の集約を計り、これに基づいた施設整備・維持管理の方針を示していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の修繕等が必要な箇所については、実態を踏まえて計画的に対応していきたい。</li> <li>・本公園に望まれているサービスの向上と施設づくりについての情報交換を公園関係者で定期的に行い、サービス向上に努めたい。</li> </ul>

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課